

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本11月鉱工業生産)

2018/12/28

りそなホールディングス 市場企画部

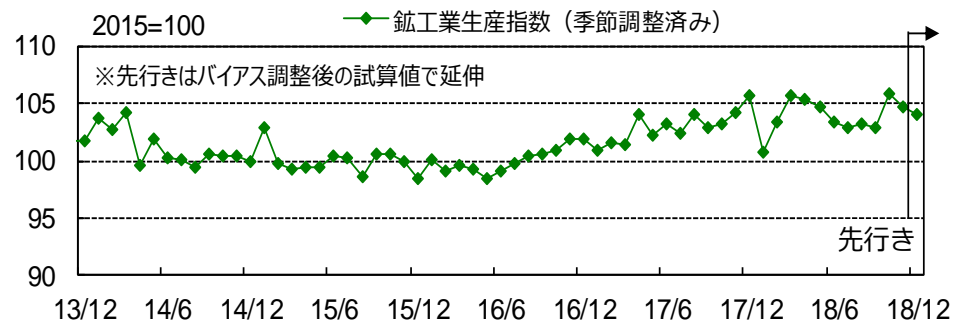


〇概況

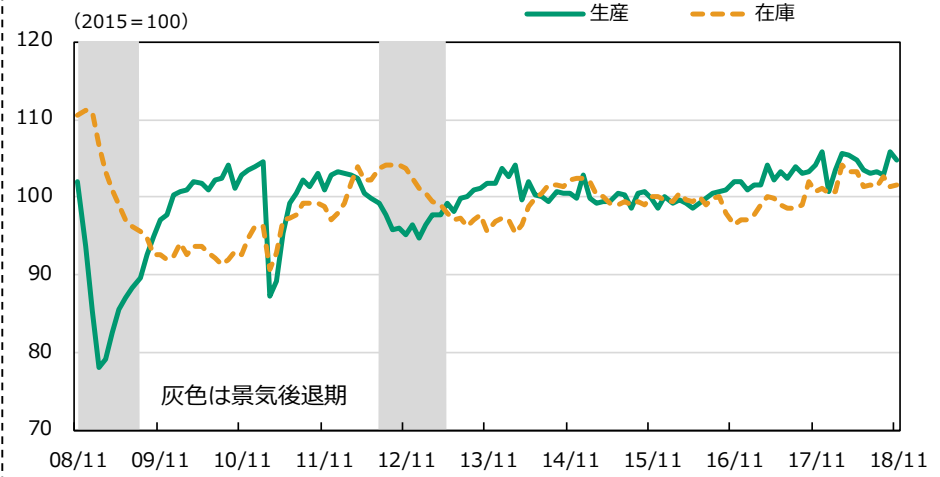
- ◆ 11月鉱工業生産、前月比▲1.1%と低下
- ◆ 基調判断は「緩やかな持ち直し」で前月から据え置き
- ◆ 生産予測調査によると、12月+2.2%、1月▲0.8%の見通し

- ✓ 11月の鉱工業生産は前月比▲1.1%と、前月から低下。出荷は▲1.4%と低下、在庫は+0.2%と上昇。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は▲1.8%と低下。9月の自然災害の影響から10月に挽回して生産量が増加したこともあり、11月の生産は低下した。
- ✓ 基調判断は前月の「緩やかな持ち直し」から据え置き。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中8業種が低下。はん用・業務用機械(▲11.0%)、電気・情報通信機械(▲2.1%)、電子部品・デバイス(▲1.7%)などが低下。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中11業種が低下。はん用・業務用機械(▲8.7%)、自動車(▲2.2%)、電気・情報通信機械(▲4.6%)などが低下。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中8業種が上昇。石油・石炭製品(+9.7%)、自動車(+6.1%)、化学(+4.6%)などが上昇。
- ✓ 予測調査では12月+2.2%、1月▲0.8%の見通し。(ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は12月▲0.7%となる。) 企業の生産計画の慎重さが伺える結果となった。

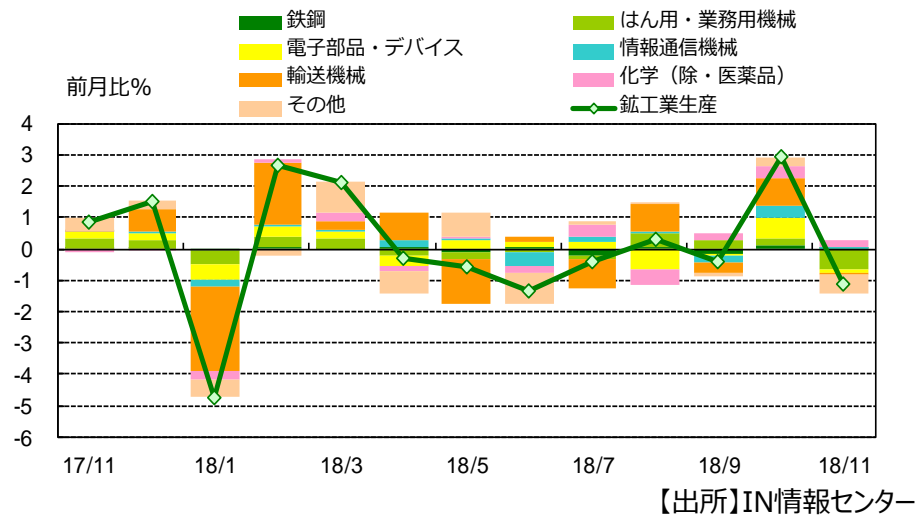
【鉱工業生産(指数)】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産(寄与度)】



◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。